

新聞入力基本説明書

(作成日：2002年4月20日)

改定：2004年6月5日

改定：2006年9月5日

1. 作業の開始

入力の原稿となる新聞データか紙面コピー及び各参加者固有の指定URL、ID番号、パスワード、その他の資料をNPO事務局より郵送及びメール添付で受け取られた日から、作業を開始していただくことが可能です。

2. テスト入力と送信

最初にまずは紙面から適当な記事を選び、記事を入力して送信してみてください。
NPO事務局がチェックして、不具合や問題の有無についてご連絡します。

3. 新聞記事入力用の新聞データ及び紙面コピーの引渡し

以前は原稿となる新聞はA3の紙面コピーで郵送しておりましたが、今現在は、ほとんどがTIFの画像データに切り替わり、メール添付で送信しております。また紙コピーを希望される方は郵送となりますので、多少時間がかかると思います。お早めにご請求ください。

入力用新聞が終わり次第メールあるいはお電話で次の新聞の請求をしていただきます。各入力サイトの掲示板で請求をしていただくことも可能です。

NPO本部事務局

静岡市葵区竜南二丁目11-43

電話054(249)2970、FAX054(248)4612

責任者 剣持里子 メール：kenmochi@ircd.co.jp

4. 疑義の質問、問い合わせ

入力していて疑義が生じた場合、以下にご連絡ください。連絡方法は、電話、ファクシミリ、インターネットメール、その他どのような方法でも支障ありません。

NPO施設（静岡市清水区御門台パソコンサロン、静岡県総合福祉会館内障害者マルチメディア情報センター）のお近くの住所の方は、直接来ていただいても結構です。

但し事前に事務局にご連絡ください。

問い合わせ先

NPO本部事務局

電話054(249)2970 FAX054(248)4612

担当者 剣持里子 メール: kenmochi@ircd.co.jp

5. 入力と送信方法の説明

入力は次のような手順で行います。

- (1) 送られてきた新聞原稿の画像データを、ご自分のパソコンの中に作った任意のフォルダーに入れておきます。この時点でメール添付された新聞データは削除してください。
- (2) 各入力ボランティアが自分のPCにインストールしたイージーCDシステムビューアを使用して、入力用原稿の画像を見やすい大きさに拡大します。
- (3) 実際に入力する前に、その日入力する紙面原稿を読んでみて、難字の辞書調べなどを先にやっておき、調べた結果を原稿紙面にメモ書きしておく方法をお奨めします。スムーズに入力が進みます。
- (4) インターネット接続されている入力者のパソコンで、各自にNPO事務局から配布されたURL(ホームページアドレス)を開きます。このURLは、各個人に固有のページです。ページを開くと、ID番号と、パスワードを入力するボックスが現れますので、URLと一緒にNPO事務局から配布されたIDと、パスワードを入力しOKボタンを押します。
- (5) 「近代新聞の記事入力 選択メニュー」から、左上の「新規記事入力」を選びクリックすると「近代新聞記事入力画面」が開きます。

※記事入力方法

- ①「ホームページ上の入力用の画面から直接入力を行うケース」:

この方法を取られるのが一般的だと思います。ただし、この方法で入力を行う場合、インターネットプロバイダへの接続及び電話料を定額で契約されている方は接続したままで気にせず入力して支障ありませんが、従量制(使った時間で接続料と電話料が増える契約方式)の場合は、各々が使っているインターネットブラウザ(Internet Explorer や Netscape など)のオフライン作業に切り替えておく必要があります。注意してください。

- ②「一端テキストやワードに入力してから、ホームページ上の入力画面に貼り付けるケース」:

インターネット接続する以前に、メモ帳テキストエディター(スタート～プログラム～アクセサリ～メモ帳テキスト)や、ワード(あるいはワードパッド)に予め新聞記事を入力して保存(適当な名前でも可)し、この後インターネット接続し、保存したテキストファイルを送信するという方法です。プロバイダと電話回線が従量制の契約の場合で、なるべく接続してい

る時間を短縮したいケースでこの方法は有効ですし何度も見直しができるという利点があります。が、ファイルの保存や操作に慣れた方でないと少し戸惑われるかもしれません。

(6) 新聞記事の入力する順番は特に定めませんが、古い日付順に、一日単位で若い面番号から入力されることをお奨めします。1面の中で、必ずしも1段1面から順に入力してゆくという必要はなく、一まとまりの記事であれば、紙面の下段からでも中段からでも入力して頂いて結構です。送信される順番も順不同で結構です。長い記事の場合、一つの記事だけで半日がかりになってしまうものもあり、その日に割ける時間に応じて、記事を選択されるのが良いのではないかと思います。ただ、二重に入力される誤りを避けるため、入力を終え送信された記事を、赤鉛筆やマーカーなどで囲んでおくことをお奨めします。

(7) 画面上の入力フォームの中の①新聞名、朝刊夕刊の区分、②発行年月日、③面、④段、⑤タイトル、⑥記事、⑦内容区分の7項目は、必須入力が必要な基本項目です。

(タイトルのみで、入力すべき記事が無いというケースが稀にありますが、この場合は記事欄に、(記事無し)と入力する必要があります。

(8) 入力後の確認と送信

入力を終わったら、必ず入力画面上でミス入力が無いか見直ししてください。見直しが済んだら画面最下段の送信ボタンを押します。基本入力項目に入力がなされていない場合には、送信ボタンを押すと、エラーメッセージ画面が表示されますので、戻るボタンを押して、メッセージで指摘された個所を入力して再び送信を行います。正しく全ての基本事項の入力が行われていれば、送信ボタンを押すと、入力した記事の確認画面が開きますので、再度間違いが無いか確認を行い実行ボタンを押します。これで一つの記事の入力と送信が完了しました。

6. 送信された記事データの照合と修正

入力ボランティアが送信されたデータは、即インターネットで公開されます。本当は、一旦NPO事務局担当者に送信され、事務局にて照合を行うのがよいのですが、それだけの時間と人数が確保できないため、「記事変更画面」より入力者が自分でデータ修正を行えるようにしてあります。ある程度の入力ボランティアの人数が確保できた時点で、かなり経験が必要な作業である照合は、ベテランの入力ボランティアの方々をお願いしたいと思っています。ただデータの二重送信等の訂正は事務局の管理部門にて実施しますので、事務局までお知

らせてください。

7. 入力が終わった新聞データ及びコピー紙面の取り扱いと、次の新聞原稿の受け取り。

手持ちの新聞原稿が残り少なくなりましたら、3. の項目でお知らせしたように事務局に電話かメール、あるいは記事入力選択メニュー画面上の掲示板でその旨をご通知ください。お知らせがあり次第、次の原稿を準備し、ご希望によりT I F画像のメール添付か紙面の郵送でお届けします。N P O施設にて受け取られる方は、その際に従前に入力を終えた紙面原稿をご持参ください。入力が終わったデータは速やかに自分のパソコンより削除してください。またやむを得ずフロッピーなどの媒体にコピーしたデータはフォーマットし、CDなどの場合は粉碎処理をお願いします。粉碎処理が不可能な場合は事務局まで送っていただければこちらで処理させていただきます。また持参できない紙面コピーの場合もご負担をおかけしますが事務局まで返送してください。**この新聞原稿は静岡県中央図書館様からご好意によりお借りしているものです。くれぐれも私的に使用することはお避けください。またインターネット上で流すことは厳重に禁じられております。ご注意ください。**

8. 各参加者の入力作業量について

初回については、一律で1日分、平均4紙面をお渡ししていますが、初回分をまずは入力していただいた上で、各々新聞入力に割いていただける時間やご自分のペースに合った適量を申告していただければと事務局では考えています。細かな文字を追い、体に負担のかかる作業です。決して無理をなさらず、たとえ月に1紙面でも結構ですから、自らの適量を慎重にお考えいただくのが長く続ける秘訣かと思います。

9. 各参加者への新聞記事データ検索サイト閲覧について

入力ボランティアの方は有償会員と同じサイトからご自分のIDパスワードで閲覧できます。現在はサンプルデータが12,000件ほど、総データ件数が約50,000件入っています、順次皆様が入力されたデータが蓄積され、これを検索表示することが可能となります。お楽しみに。

10. 近代期新聞に関する勉強会の開催予定

大学の協力や各財団の助成金の援助を受け何回か静岡県近代新聞講座を開いております。

静岡県近代史研究会会員の川上氏には、明治から昭和にかけての静岡県内で発

行された静岡新報、静岡民友新聞を筆頭とする多くの新聞についての概説及び30年代後半の新聞紙面を実際に見ながら、記事に現れる日露戦争前後の静岡県の庶民の暮らしの実相に触れるなどのテーマで講演をいただいています。また、実際にPCで検索を楽しんだり、入力をしていただいたりして、近代新聞への理解を深めていただくように勤めております。

本来なら、月一回程度の会合を持ち、皆さんに自由にご参加いただき、疑問に思った記事内容について訊ねあったり、該当の事件に関する書籍、史料を紹介しあったりという機会を作ってゆくの理想ですが、勉強会となると一箇所に集まるのがむずかしく、なかなか企画できないのが現状です。

現在は、各々の入力サイトからの掲示板で入力ボランティアの交流が生まれてきています。なるべく入力ボランティア全員の参加とご利用をお願いし、この掲示板がより賑やかになるように希望しております。